



# 定例記者会見

○熊本広域大水害における復旧・復興について

# 熊本広域大水害に係る復旧・復興について



(1) 現在の復旧・復興の状況

(2) 今後の方向性

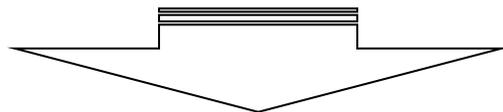
# 「復旧・復興に向けた3原則」



- ①被災された方々の痛みを最小化する
- ②単に元あった姿に戻すだけでなく、創造的な復興を目指す
- ③復旧・復興を熊本の更なる発展につなげる

# (1) 復旧・復興の進捗状況

- 道路、河川、砂防施設
- 林地、治山施設、林道等



H27. 6. 30時点：完成率 99%

※ 残る被害箇所も復旧の目処

# (1) 復旧・復興の進捗状況

## ○仮設住宅入居者も新たな生活をスタート

仮設住宅

(退去困難な被災者の住宅として活用)



基礎改修工事  
の実施

(現在10世帯34人が引き続き入居中)

利用者の生の声を踏まえ、  
間取りや使い勝手を改善。  
→「モデル住宅」として提案。

「くまもと型木造仮設モデル  
住宅」として全国に発信

# ○ 創造的復興の取組み

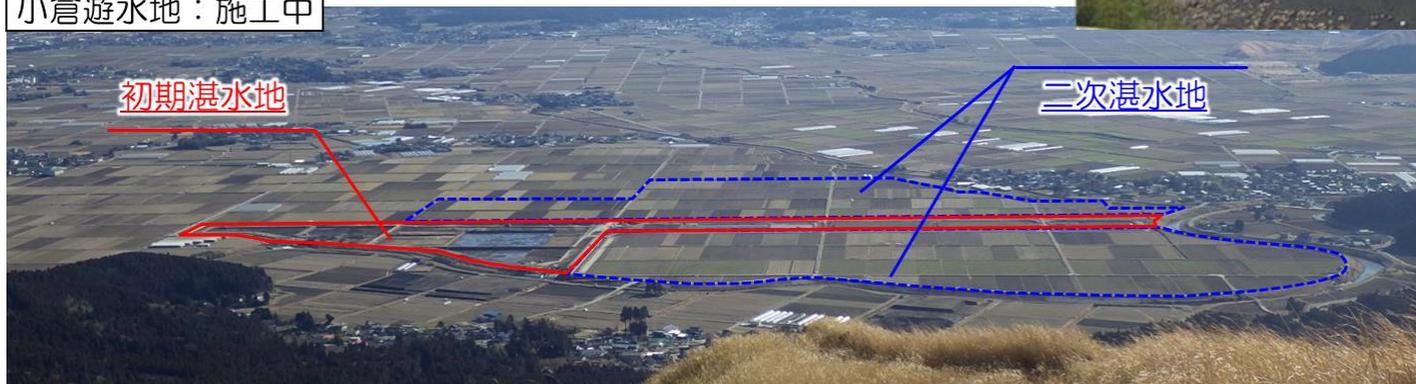
## <白川の河道付け替え>

(熊本市龍田陳内)



## <黒川の治水対策・遊水地の状況(阿蘇市)>

小倉遊水地：施工中



# ○ 創造的復興の取組み

## 流入土砂を活用した「農地嵩上げ」と「大区画化」



<土砂の受入れ>



<区画整理>



<嵩上げ後>

# ○ 創造的復興の取組み

## 国道57号滝室坂道路



## 世界文化遺産登録を目指す阿蘇地域に ふさわしい公共工事の推進

砂防施設  
土井川：阿蘇市  
一の宮町手野

砂防えん堤完成



完成(イメージ図)



現地採取石材を利用した溪流保全工



県産木材を使用した残置式型枠により築造した治山施設（阿蘇市一の宮町）

# ○ 災害を教訓として生まれた新たな政策

予防的避難

熊本県版  
タイムライン

土砂災害特別警戒区域からの移転  
(H27～県独自に支援制度創設)

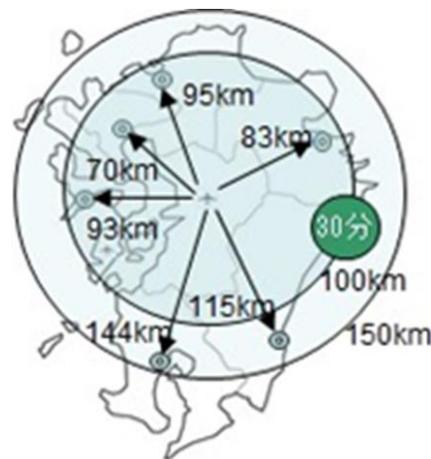


## (2) 今後の取組みの方向性

### 九州を支える広域防災拠点構想

#### 熊本の強み

- ・九州の中央にあり、ヘリで各地に短時間で移動できる
- ・災害医療の派遣実績が豊富な医療施設がある
- ・防災拠点としての指令機能を有する  
陸上自衛隊西部方面総監部がある、等

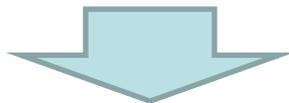


➡ **【H27.3月】阿蘇くまもと空港が広域防災拠点に**

**【H27.4月】国の合同庁舎B棟が政府の現地対策本部の候補に**

## (2) 今後の取組みの方向性

- ・国との合同訓練の開催
- ・中九州横断道路など横軸の道路整備を加速化



防災力や拠点性を高め、熊本の更なる  
発展と安全・安心の向上につなげる